

【事業概要】

国際漁業資源評価調査・情報提供委託事業 (試験研究費 (受託事業))

加藤美奈子*

マグロ・カジキ類は、沖縄県の漁船漁業において水揚げ量・額とともに最も多く、本県の水産業における最重要魚類となっている。一方で、高度回遊性魚類であるマグロ類・カジキ類の資源管理は県単独では対応が不可能で、国際的な取り組みが必要である。これを進めるために、わが国では国立研究開発法人水産研究・教育機構がその取り組みの中核となり、関係する道府県の水産研究機関や大学等と共同事業体 (JV) を組み、水産庁から事業委託を受けている。

本事業では、広域回遊性を示すマグロ・カジキ類の国際的な資源管理に対応するため、JV に参画している各機関が、役割分担をして調査・研究を行っている。特に資源管理の必要性が高いとされている太平洋クロマグロ (以下、クロマグロ) については、本県の周辺海域が主要な産卵海域とされており、ここから得られる各種の情報は本種の資源管理上、極めて重要といえる。そこで本県では、①クロマグロ産卵時期に相当する4~7月に県水産公社 (糸満新港) で水揚げされる同種の生物学的調査 (尾叉長, 体重, 性別) および漁獲情報調査 (漁場位置, 漁法, 水温, 漁船名等) と②水産海洋技術センター漁獲統計システムをもとに集計した漁獲情報 (漁船名, 漁法, 漁獲量等) の取りまとめを担当している。また、遺伝子解析に用いられる筋肉サンプルの採取も行い、国際水産資源研究所に送付している。

本調査結果の詳細については、「平成 29 年度国際漁業資源評価調査・情報提供委託事業報告会」において報告を行っている。その報告内容の一部を、図1および図2に示す。またその内容については、「平成 29 年度水揚げ地でのまぐろ・かじき調査結果」(国立研究開発法人水産研究・教育機構刊) に掲載されているので、詳細についてはこれを参照されたい。

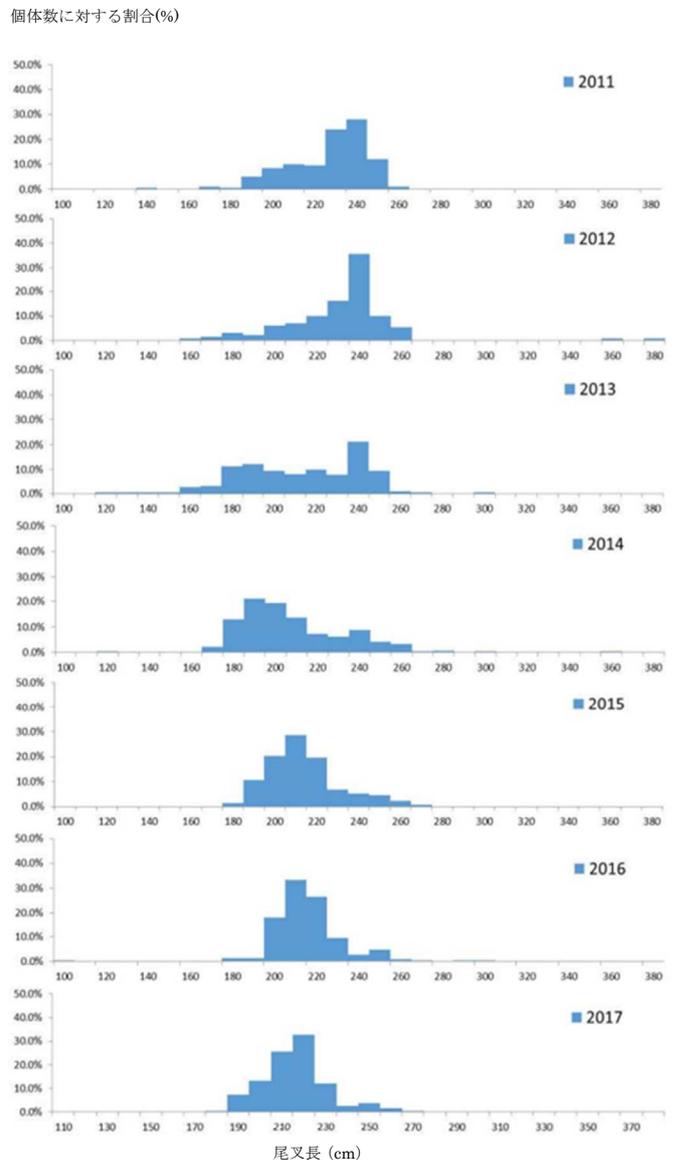


図1 過去7年間の体重組成図

*E-mail : katoumnk@pref.okinawa.lg.jp 本所 (現所属 : 沖縄県農林水産部漁港漁場課)

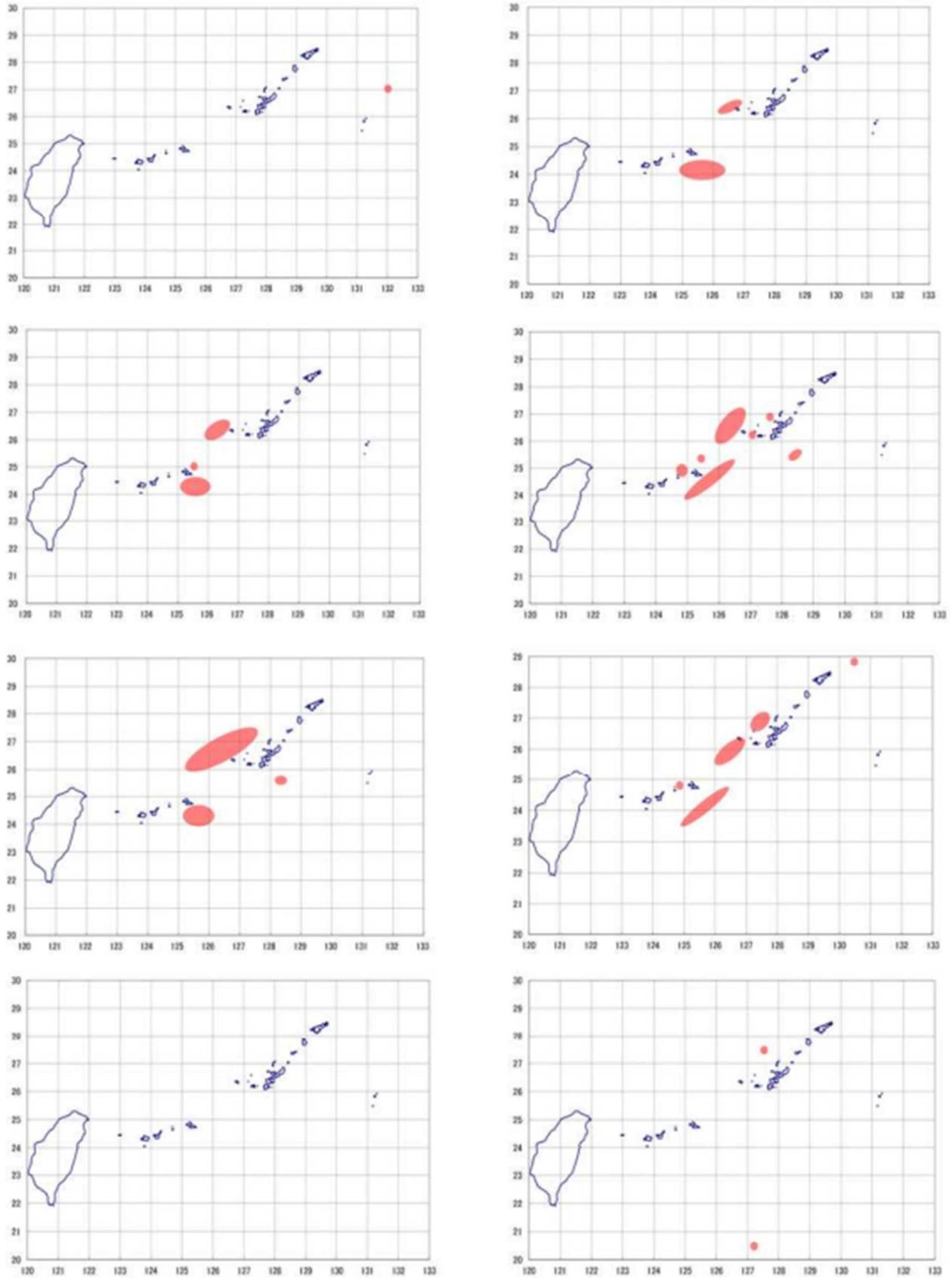


図 2-1 クロマグロの漁獲位置 (左: 2017年、右: 2016年)

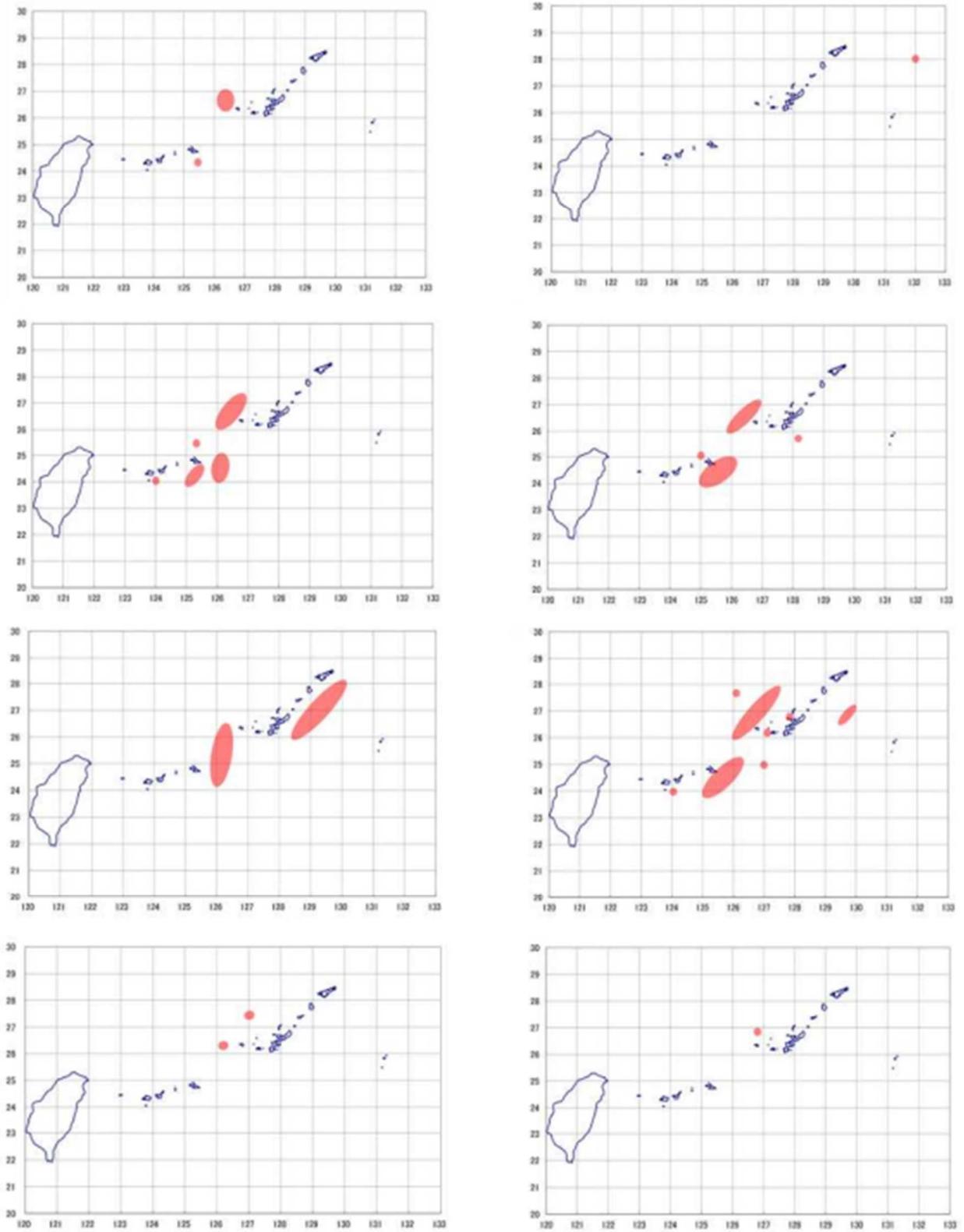


図 2-2 クロマグロの漁獲位置 (左 : 2015 年、右 : 2014 年)